

令和元（2019）年度事業計画（重点施策）の進捗状況（概要）

令和2年4月8日現在

部門名 兵庫大学

兵庫大学短期大学部

令和元（2019）年度 事業計画（重点施策）	これまでの進捗状況（■）と今後の予定（◇）
<b>（1）大学改革を促すシステムの整備と経営基盤の強化</b>	
<p>①入学者目標数の必達                      &lt;現代ビジネス学科&gt;                      【入学定員】 100人                      【入学者数】 144人</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自己評価 1</div> <span>➡</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">最終評価 1</div> </div>	<p>■公募推薦入試、一般入試以降は、併願層の獲得に注力し、出願状況や手続き歩留まり状況を学科、入学課で協議しながら戦略を検討し、実施した。                      ■SOTO-MANABI Vol.2、教員 Real、News Letter No.25～28 を発刊。大学公式 SNS との連動も加え、Facebook30 件、Twitter35 件を更新した。                      ■留学生確保のため、日本語学校への説明及び模擬授業、入学前フォローアップ教育、スクリーングの開催を実施した。                      ◇探究学習の支援を含めて高大接続連携関係の強化を行う。                      ◇特色コンテンツの制作により <u>AI/データサイエンス活用副専攻の周知</u>を行い、新規学生を確保する。</p>
<p>&lt;栄養マネジメント学科&gt;                      【入学定員】 80人                      【入学者数】 85人</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自己評価 2</div> <span>➡</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">最終評価 1</div> </div>	<p>■教育内容の見える化を図るため、公式サイト実践食育研究センターページの整備を行った。また、<u>学科教員全員が年4件の学科記事掲載</u>を行い、<u>全体で90件の記事を更新</u>した。                      ■学科内でオープンキャンパスの学科プログラムや高校生に直接アプローチする仕組みを検討し、実践した。また、8月にサマーセミナーを開催し、26名の高校生を接触することができた。                      ■情報を正確に伝えてくれる在学生に声をかけ、<u>里帰り訪問を4校実施</u>した。                      ◇アカデミックレクチャー、高校ガイダンスの内容を充実させ、高校生と接触する機会を増やす。                      ◇入学者特典を学科内で検討し、実行に移す。</p>
<p>&lt;健康システム学科&gt;                      【入学定員】 40人                      【入学者数】 49人</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自己評価 4</div> <span>➡</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">最終評価 1</div> </div>	<p>■附属高校対象入試への対策として、ピア活動を実施。40名の生徒が参加し、養護教諭の職種の理解を深めることにつながった。                      ■今年度の入学生に対し、<u>入学直後に個人面談を実施</u>し、<u>志望動機などの聞き取り調査</u>を行った。得た情報は、次年度以降のオープンキャンパスなどで活用していく予定である。                      ◇附属高校対象入試の対策は、引き続き、学科紹介等を実施する方向であるが、時期については担当者間で協議していく必要がある。                      ◇オープンキャンパスの学科プログラム及び体験授業を学科内で検討する。健康スポーツ指導コースの体験授業では実習室などを活用したプログラムを次年度以降、検討・実施する。</p>
<p>&lt;看護学科&gt;                      【入学定員】 90人                      【入学者数】 99人</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自己評価 2</div> <span>➡</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">最終評価 1</div> </div>	<p>■附属須磨ノ浦高校に対しては、看護職に対する意識が高い生徒を推薦してもらえるようアプローチを行ったが、成績上位の生徒確保には至らなかった。                      ■近隣の高校を中心にアカデミックレクチャーを実施。看護師や保健師、養護教諭職に興味を持つ生徒に対して、看護学科の特色を発信し、出願を促した。                      ■6月に「やさしい健康教室」を実施した。<u>地域住民100名を超える参加</u>があり、学生や教員との交流を深めることで本学科の理解促進につなげることができた。                      ◇アカデミックレクチャーや探求の授業を通じて、本学の特色や職業の魅力の発信を行い、受験生確保に努める。                      ◇近隣住民への健康教室を積極的に行い、学生の学外活動の場を広げるとともに、本学の魅力を地域に発信する。</p>
<p>&lt;社会福祉学科&gt;                      【入学定員】 40人                      【入学者数】 43人</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自己評価 4</div> <span>➡</span> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">最終評価 1</div> </div>	<p>■重点校の高校訪問を <u>36校</u>実施した。                      ■オリエンテーション時の学生による手話通訳や子ども食堂、加西市学生モニター、教員とのコラボによるシンポジウムでの学生発表など、見せる化を図った。                      ■<u>交流事業（学生の研究発表、連携協定先職員のゲストスピーカー）</u>を行い、入口対策や経済的支援対策に限らず、教育的効果を図った。                      ■附属須磨ノ浦高校との連携強化として、附属校オープンキャンパスやセミナー等に全面的に協力した。                      ◇オープンキャンパス参加者を志願者へ繋げるための対策を検討していく必要がある。                      ◇5年に及ぶ学科の構造改革と教育課程の充実を図った。所管部署の検証と方針に沿って、次年度の募集戦略を学科内で協議する。</p>

令和元（2019）年度 事業計画（重点施策）	これまでの進捗状況（■）と今後の予定（◇）				
<p>&lt;こども福祉学科&gt; 【入学定員】 50 人 【入学者数】 41 人</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">7</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">7</td></tr></table> </div>	自己評価	7	最終評価	7	<p>■附属須磨ノ浦高校から 10 名の入学者を確保した。 ■こども福祉学科教員全員が 3 校ずつの高校訪問を実施した。卒業生のその後と進路を学科内で共有し、担任教諭に情報が伝わるよう努めた。 ■一般入試、センター試験利用入試の合格者対応として、魅力的に思える記事を積極的に公式サイトに掲載した。 ◇高等学校教諭の関心事である卒業生の動向を学科内で共有し、本学科の特徴と併せて説明できるよう学科内の情報共有を強化する。 ◇四年制志向が強い地域に、医療保育士養成を行っていることを強調して学生募集を行う。</p>
自己評価					
7					
最終評価					
7					
<p>&lt;保育科第一部・第三部&gt; 【入学定員】第一部 100 人、第三部 80 人 【入学者数】第一部 80 人、第三部 89 人</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">4</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">4</td></tr></table> </div>	自己評価	4	最終評価	4	<p>■今年度は年明け入試でも志願者があり、一般入試（後期）で第一部 2 名の出願があった。一般入試全体を通じ、直前相談会参加者が受験、合格している。 ■公式サイトを通じて、特に正課外活動及び公務員合格状況について、積極的に発信した。 ■12 月のオープンキャンパスは 19 名、2 月の進路探究塾は 17 名、入試直前相談会は 8 名の高校生が参加し、本学の魅力を伝えることができた。 ■短大志願者の減少保育士志望の減少が大きく影響した。 ◇志望校決定時期が早まっているとの情報もあり、下級生向けの進学説明会等への参加など、来年度も引き続き学科全体で学生募集に取り組む。</p>
自己評価					
4					
最終評価					
4					
<p>②ガバナンス体制の盤石な基盤の確立</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">8</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">8</td></tr></table> </div>	自己評価	8	最終評価	8	<p>■経費抑制計画としてスクールバスに係る経費の見直しを関係部署と協議した結果、令和 2 年度から減便を実施することとなった。 ■新たな評価制度の導入検討を行い、原案を作成したが、成案には至らなかった。 ■業務改革・業務改善策として、令和 2 年度から事務組織の一部改編を行った。 ◇人事考課制度の改正について、作成した原案を精査し、制度改正を実施する。 ◇引き続き、経費抑制に向けて精査及び事務機構改革、業務改革・改善に向けて精査を行っていく。</p>
自己評価					
8					
最終評価					
8					
<p>③本学の永続的発展のための第 3 次中期計画の策定</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">2</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">2</td></tr></table> </div>	自己評価	2	最終評価	2	<p>■Vision 2024 は令和 2 年度より開始する。 ■Vision 2024 の作成にあたっては、平成 30 年度、令和元年度の 2 カ年で「策定方法の決定」「計画策定」「評価方法の検討」の 3 段階に分け進めた。 ■Vision 2024 の 5 年後の姿を踏まえた事業計画の策定については、計画通り進めることができた。 ◇今後の政策立案では、「全体の計画の中のどの部分を今、進めているのか」を明確に示すことにも留意し、教職員が政策に関わることができる工夫を検討する必要がある。 ◇第 2 次中期計画で課題となっていた「計画への理解」と「全教職員への浸透」「目標実現に向けた継続的な取組み」の改善に向け、Vision 2024 の公式サイトへの掲載や・学長からの定期的な情報発信と情報の共有などの取組みを行う。 ◇第 4 次中期計画（仮称）を視野に入れた改善点の確認等を行っていく。</p>
自己評価					
2					
最終評価					
2					
<b>（2） 教学マネジメントの確立と教育の質保証確立</b>					
<p>①学士力の定義と学修成果の可視化 （ポートフォリオによる学生の学修履歴の可視化）</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">7</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td style="text-align: center;">7</td></tr></table> </div>	自己評価	7	最終評価	7	<p>■兵大 Basics"A"、兵大 Basics"B"、ポートフォリオ導入について教学説明会（9 月 11 日）を開催した。 ■学内及び学外広報を行なうために、「学びの見える化宣言」パンフや「学びのカルテ」を作成した。また、教学情報システム入力マニュアルの作成及びマニュアル動画の作成を行った。 ■学修ポートフォリオに係るシステム導入について検討し、学科長会議内で説明を行なった（8 月 8 日）。また、現教学システムの機能を活用した「学生による学修のふりかえり」のための手順等を整理し、組み立てを行なった。 ■「授業設計と学修評価」について FD・SD 研修会を 10 月 2 日に開催し、教職員 99 名の参加があった。 ■授業方法及び学修成果の評価方法等について実態を把握するため、全教員に対し「授業方法に関するアンケート」を実施。 ◇兵大 Basics"C"については、PROG*を導入予定。兵大プロフェッショナル力については、それぞれの学科と調整しながらポートフォリオ整備を促進する。 ◇保育科については、「教職カルテ」（兵大 Basics"B）及びプロフェッショナル力に該当）データの教学情報システムのポートフォリオ機能を用いた入力体制が 2020 年 7 月以降に開始予定。 *PROG（大学教育を通じたジェネリックスキル開発を測定と育成の両面から支援するプログラム。リテラシーとコンピテンシーの 2 側面から測定し、年間約 300 大学が実施、約 18 万人が参加する）</p>
自己評価					
7					
最終評価					
7					

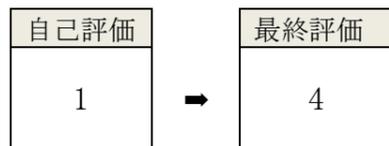
令和元（2019）年度 事業計画（重点施策）	これまでの進捗状況（■）と今後の予定（◇）												
<p>②国家試験等の高い合格率の確保のための学生支援体制の強化          &lt;現代ビジネス学科&gt;          公務員第一志望学生の合格率：100%          [希望者4人、受験者7人、合格者4人]          優良企業への就職と実質就職率100% [就職者22人]</p> <p><b>【結果】</b>          公務員試験          [受験者7人、合格者0人]          就職率100%</p> <table border="1" data-bbox="409 596 989 816"> <tr> <td rowspan="2">公務員試験</td> <td>自己評価</td> <td rowspan="2">➡</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">優良企業就職</td> <td>自己評価</td> <td rowspan="2">➡</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	公務員試験	自己評価	➡	最終評価	7	7	優良企業就職	自己評価	➡	最終評価	1	1	<p>■加古川市役所4名、明石市役所1名、播磨町役場3名受験したが、全員が筆記試験で不合格となった。</p> <p>■就職率100%を達成した。上場企業、外資系企業、財団法人、金融機関、地元優良企業、病院等に就職している。(就職実績：東証1部上場企業(コーナン商事、サンドラッグ)、外資系企業(ウォルマートジャパン/西友)、地場優良企業(伊丹産業、ダスキユニオン、スズキ自販兵庫、JA)、元公益法人の財) 航空保安事業センター、森トラスト・ホテルズ&amp;リゾーツ、医療法人順心会等)</p> <p>■松野恵介客員教授による就活セミナーを10月に開催した。また、2月～3月にかけて、堀内教授による就職特訓を4日間行った。</p> <p>◇4年生については、公務員対策講座に参加していない学生も含めて、公務員志望の学生をしっかりとグリップし、受験まで導くように指導していく。また、新2年生については、学生のレベルにあった指導を行っていく。</p> <p>◇経済環境の悪化の影響も予想されるので、早期に全員面談を実施して、学生が主体的に活動するよう指導する。</p>
公務員試験		自己評価		➡	最終評価								
	7	7											
優良企業就職	自己評価	➡	最終評価										
	1		1										
<p>&lt;栄養マネジメント学科&gt;          国家試験合格率：90%以上          [全員受験34人、合格者31人]</p> <p><b>【結果】</b>          国家試験合格率：80.8% (新卒平均92.4%)</p> <table border="1" data-bbox="409 1086 989 1228"> <tr> <td rowspan="2">4年次生 (国家試験)</td> <td>自己評価</td> <td rowspan="2">➡</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3年次生 (栄養士実力試験)</td> <td>自己評価</td> <td rowspan="2">➡</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </table>	4年次生 (国家試験)	自己評価	➡	最終評価	5	5	3年次生 (栄養士実力試験)	自己評価	➡	最終評価	5	5	<p>&lt;4年生&gt;</p> <p>■2019年度国家試験の合格率は80.8% (新卒92.4%)であった。</p> <p>■全7回行った全国模試では、2月に全国平均65.1%に対して本学平均65.9%となり全国平均に到達した。</p> <p>◇チュータークラスごとで勉強会を実施し、学生が特に苦手とする人体・基礎栄養学・臨床栄養学の領域の勉強の取り組み方について、指導していく。</p> <p>◇教材は学生達に人気の高いクエスチョンバンク(過去問解説集)を使用し、過去問を解き進めながらの指導。適宜、内容理解確認のための小テストを繰り返し行う。</p> <p>&lt;3年生&gt;</p> <p>■栄養士実力認定試験では全員Aランクを目指したが、取得率は64.7%であった。</p> <p>■少人数指導では、基本スキル(調べ方・考え方)を中心に自主学習に繋がるよう指導を行った。全体講義では、14回の講義とともに、学生個々人が自主学習した内容を発表する機会を設けた。</p> <p>■講義開始時に前回の講義内容の小テストを実施。80点未満の学生には補講テストを実施し100点になるまで繰り返し行った。</p> <p>■ガイダンスを計6回実施し、学習へのモチベーションアップに繋げた。</p> <p>◇総合演習Ⅱの単位取得者に対して、管理栄養士国家試験受験対策プログラムを展開する。</p> <p>◇基本科目である「解剖生理学」、「生化学」、「臨床栄養学」を少人数指導で重点的に学習させる。学んだ内容を記憶するために試験をこまめに実施する(分野毎試験4回、講義毎試験14回)。</p> <p>◇各試験で得点率が80～90%以下の学生には、補講試験(再試験)を実施し、学習したことを確実に記憶するよう指導する。</p>
4年次生 (国家試験)		自己評価		➡	最終評価								
	5	5											
3年次生 (栄養士実力試験)	自己評価	➡	最終評価										
	5		5										
<p>&lt;健康システム学科&gt;          教員採用試験合格者：20%以上          [受験者：保健体育10人、養護6人 計16人]          [合格者：一次4人、二次3人]          運動関連資格試験合格率：100%          [健康運動実践指導者 受験予定者13人]          [健康運動指導士 受験予定者4人]          [ジュニアスポーツ指導者 受験者5人]</p> <p><b>【結果】</b>          教員採用試験          [受験者：保健体育6人、養護6人 計12人]          [合格者：一次3人、二次0人]          運動関連資格試験          [健康運動実践指導者 受験者11人、合格者6人]          [健康運動指導士 受験予定者1人(コロナウイルス感染症対策のため延期)]          [ジュニアスポーツ指導者 受験者0人]</p> <table border="1" data-bbox="409 2697 989 2822"> <tr> <td rowspan="2">教員採用試験</td> <td>自己評価</td> <td rowspan="2">➡</td> <td>最終評価</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </table>	教員採用試験	自己評価	➡	最終評価	6	6	<p>■教員採用試験については、保健体育の希望者10名中6名が受験、養護は6名中6名が受験した。保健体育の一次合格は2名(横浜市中学校1名、神戸市中学校1名)。養護の一次合格者は1名(島根県)であった。既卒生については、特別支援(体育)1名(神戸市)、養護教諭3名(兵庫県)の合格があった。</p> <p>■新たな取り組みとして、通年で教職HRを実施。時間割内の空コマを活用しての実施であったが、教職科目履修者のうち参加率は、1年次生50%、2年次生47.4%、3年次生92.3%であった。</p> <p>■健康運動実践指導者については、受験者11名、合格者6名(合格率54.5%)であった。</p> <p>◇学科内委員会として教員採用試験対策委員会を立ち上げ、多部署との連携を図りながら採用試験対策を進める。</p> <p>◇教職HRの活用法について検討し、採用試験対策だけでなく教職の理解につながる活動を継続して進める。</p> <p>◇健康運動指導士とジュニアスポーツ指導員については、受験数が低調であったことから、受験者を確保するための方策について学科内で検討する。</p>						
教員採用試験		自己評価		➡	最終評価								
	6	6											

令和元（2019）年度 事業計画（重点施策）	これまでの進捗状況（■）と今後の予定（◇）						
<p>運動関連資格試験</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	5		5	
自己評価	→	最終評価					
5		5					
<p>&lt;看護学科&gt;            国家試験合格率：100%            ・看護師            ・保健師            [受験者：年度卒業生総数、保健師希望者数]            (参考：2018年度受験者数 看護師109名、保健師18名)</p> <p>【結果】            国家試験合格率            ・看護師 88.2% (新卒平均94.7%)            ・保健師 100% (新卒平均96.3%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	2		2	<p>■2019年度国家試験の合格率は看護師88.2% (新卒94.7%)、保健師100% (新卒96.3%)であった。            ■全国模擬試験や学内模試を実施し、学生の勉学意欲を向上させると同時に保護者に成績表を随時郵送しながら国家試験合格に向けて連携を強化した。            ■外部講師による対策講義を実施(4日分)、「看護研究Ⅱ」の単位認定に国家試験に類似した予想問題を使用して対策を行った。            ◇模擬試験結果を保護者と共有して、保護者と教員双方で国家試験対策のサポートにあたる。</p>
自己評価	→	最終評価					
2		2					
<p>&lt;社会福祉学科&gt;            社会福祉士国家試験合格率：60%以上            [受験者15人、合格者9人]            精神保健福祉士国家試験合格率：75%以上            [受験者4人、合格者3人]</p> <p>【結果】            国家試験合格率            ・社会福祉士 78.6% (新卒平均56.0%)            ・精神保健福祉士 100% (新卒平均74.0%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	1		1	<p>■2019年度国家試験の合格率は社会福祉士78.6% (14名受験・11名合格)、精神保健福祉士100% (4名受験・4名合格)であった。            ■1年次からの専門教育の実施(300語修得の必達)。学生個々の個人カルテによる進捗度の確認と指導を強化した。            ■2017年度入学生を対象に、特別講座を実施。9月、11月、2月の模擬試験の結果に基づき、学修計画指導を行った。            ■国試ニュースを年2回発行し、保護者に発送した。            ◇既卒者への対応を強化する(2019年度社会福祉士9名受験・1名合格)。</p>
自己評価	→	最終評価					
1		1					
<p>&lt;こども福祉学科&gt;            公務員(公立園)合格率：80%以上            [希望者10人、受験者5人、合格者4人]            (実績：21人受験/2人合格)</p> <p>【結果】            公立採用試験            [受験者7人、合格者4人(延べ人数6人)]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	1		3	<p>■公立採用試験合格者は4名(延べ人数6名：加古川市1名、明石市3名、淡路市1名、東京都1名)であった。            ■教職・学習支援センター及び学生支援課、学科内公立採用試験対策担当者が目標数を目指して、様々な対応を試みた。            ◇教職・学習支援センター及び学生支援課、学科内公立採用試験対策担当者が三位一体となって支援することが極めて効果的であったため、継続していく。</p>
自己評価	→	最終評価					
1		3					
<p>&lt;保育科第一部・第三部&gt;            公務員(公立園)合格率：10%以上            [受験者50人、合格者5人以上]            (実績：保育科第一部 43人受験/1人合格            保育科第三部 7人受験/2人合格)</p> <p>【結果】            公立採用試験            [受験者21人、合格者6人(延べ人数7人)]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">自己評価</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">最終評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table>	自己評価	→	最終評価	1		1	<p>■公立採用試験合格者は6名(延べ人数7名：明石市1名、加西市1名、神戸市【保】1名、高砂市1名、宝塚市【幼】1名、丹波篠山市1名、南あわじ市1名)であった。3年連続で6名以上の合格者を輩出。目標値合格者5名以上を達成した。            ■受験者延べ数56名は過去最多。併願可能な自治体を個別に勧め、また一度不合格でも諦めずに受験し続けるよう、委員が連携しながら指導してきた。目標値受験者数50名以上を達成した。            ◇こども福祉学科、教職・学習支援センターとの共同での試験情報の収集を行う。より確実かつ多くの試験情報を収集していく。            ◇就職用メーリングリストを学科教員全員で活用し、就職試験合格状況や公立採用試験スケジュールを学科全体で随時共有していく。</p>
自己評価	→	最終評価					
1		1					

令和元（2019）年度 事業計画（重点施策）	これまでの進捗状況（■）と今後の予定（◇）				
<p>③質保証のための IR 体制の構築と実施並びに FD・SD の実効性の向上</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>2</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>2</td></tr></table> </div>	自己評価	2	最終評価	2	<p>■教員調査に関する比較研究の結果及び学生に関する比較研究の結果、生徒に関する比較研究の結果を年度末（2020年3月）に報告書にまとめて、本学と協力校へ報告した。</p> <p>■「<u>本学卒業生に対する大学教育の成果に関する調査</u>」を今年度初めて実施。集計、分析を行い令和2年3月11日の大学運営会議に上程した。</p> <p>■「<u>新任教職員研修</u>」、「<u>教職員 FD・SD 研修会</u>」（年3回）、「<u>教職員カフェ</u>」（年3回）を開催した。</p> <p>◇報告書や提言の内容を勘案しながら、教員、学生、生徒に関する各調査研究へ反映させる。</p> <p>◇入学調査、卒業時調査、卒業後調査等の結果を本学公式サイトへ公表予定。</p> <p>◇研修会等の内容及び形態については、教学マネジメント体制の確立を念頭に置き検討を行い、FD・SDの強化および深化に取り組む。</p>
自己評価					
2					
最終評価					
2					
<b>（3）グローバル化に向けた基盤整備</b>					
<p>①留学生の積極的受入と体制整備</p> <p><b>【結果】</b>  (国別) 中国 5人、インドネシア 2人  (出身校別) 神戸東洋日本語学院 3人  創智国際学院 2人  大阪日本語学院 1人  日章学園九州国際高等学校 1人  <u>留学生受入れ 計7人（目標20人）</u></p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>2</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>6</td></tr></table> </div>	自己評価	2	最終評価	6	<p>■日本語学校訪問の実施については、<u>8校を訪問</u>。うち数校は、複数回の訪問を重ね、日本語学校の教務主任の方とのコミュニケーションを図った。</p> <p>■留学生向けの<u>進路ガイダンスへの参加については、計画を上回る5件参加</u>。9月27日に日本語学校（神戸東洋日本語学院）に出向いての入学説明会を実施した。また、同日本語学校へは、1月20日に松本教授のアカデミックレクチャーを実施した。</p> <p>■初年次教育として日本語を週2コマ実施する教育課程を制定した。</p> <p>■入学前フォローアップ教育として、日本語テキストによる自習・課題、2回のスクリーニングによるオリエンテーションを実施した。</p> <p>■留学生の居住確保のための県営住宅利用に関する各種規程等の作成及び機関決定を行い、募集及び選考ルールを作成した。</p> <p>◇留学生にとって必要な情報（学費、住まい、アルバイトの斡旋、就職の支援など）を掲載したものを募集活動に活用する。</p> <p>◇訪問校数を増加させ、学科とも協力し合いながら認知拡大を行う。バス付の学校見学会やアカデミックレクチャーなどを実施し、直接留学生の方と接触する機会を増やしていく。</p> <p>◇当面は留学生との週1回の面談等を実施し、きめ細かなフォローを行っていく。</p>
自己評価					
2					
最終評価					
6					
<p>②連携協定先との国際交流推進（交換留学等の拡充）</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>1</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>1</td></tr></table> </div>	自己評価	1	最終評価	1	<p>■「<u>留学生受入れ検討会</u>」における留学生の受入れ体制について協議及び原案作成を行った。</p> <p>■10月1日、<u>ハノイ貿易大学国際教育学部（ベトナム）と協定締結した</u>。</p> <p>■留学生受入れ時の県営住宅棟借上の契約を完了した。</p> <p>■派遣/受入れに係る奨学金を兵庫県へ申請した。</p>
自己評価					
1					
最終評価					
1					
<b>（4）大学力強化に向けた研究力の強化</b>					
<p>①研究 FD 及び協働研究による研究推進の醸成</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>2</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>5</td></tr></table> </div>	自己評価	2	最終評価	5	<p>■研究倫理関係規程の改正に関する委員会で審議を実施。</p> <p>■「<u>研究環境改善及び科研費申請支援等に関するアンケート</u>」及び「<u>研究環境、科研費申請に関わる意見交換</u>」の内容を踏まえ、研究支援推進委員会で審議した。</p> <p>■実施項目「<u>研究 FD の実施</u>」「<u>共同研究マッチング</u>」「<u>研究倫理申請手続きの簡素化</u>」のうち、「<u>研究 FD の実施</u>」と「<u>研究倫理申請手続きの簡素化</u>」は進捗している。</p> <p>◇研究倫理関係規程の改正案について、年度内に大学運営会議へ上程する予定。</p>
自己評価					
2					
最終評価					
5					
<p>②科研費申請件数、応募可能者 1/3 以上（学部等単位）</p> <p><b>【結果】</b>  科研費申請数 13 件／申請可能者数 110  科研費申請数 2 件（職員）</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>自己評価</td></tr><tr><td>8</td></tr></table> <span>➡</span> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>最終評価</td></tr><tr><td>8</td></tr></table> </div>	自己評価	8	最終評価	8	<p>■<u>申請可能者数 110 件に対し、科研費申請数は 13 件</u>。職員については 2 件の申請があった。</p> <p>■10月19日、<u>久留米大学児島教授による研究 FD（科研費申請書ワークショップ）を実施し、13名が参加した</u>。また、研究 FD（科研費説明会）を計6回開催し、22名の参加があった</p> <p>■「<u>研究環境改善及び科研費申請支援等に関するアンケート</u>」を実施した（期間：8月26日～9月13日）。</p>
自己評価					
8					
最終評価					
8					

（5）地域社会との連携に基づく地域活性化と人材育成

①地域をフィールドとした教育カリキュラムの構築と評価



■地元加古川にゆかりのある「日本の伝統文化「将棋」を学ぶ」を開講した。また、共通教育機構第8回教授会にて「ファシリテーション入門」が承認され、令和2年度から開講されることとなった。

■第2回PBLグランプリには、15グループの応募があった。11月9日にポスターセッション、2月13日に本選会を実施し、本選会へは7グループが出場した。

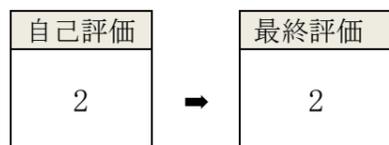
■関西SDGsプラットフォームに加入の承認を得た。「兵庫大学SDGs宣言」に向けて準備を行った。

■「地域での学びの評価」を作成し、学生27名を対象に実施した。実施結果については、集約し社会連携オフィス内で共有した。

■教育プログラムへ繋がる科目の開講やPBLグランプリの実施などは進んでいるが、目標である教育カリキュラムの構築と評価は実現していない。

◇試験的に実施した「地域での学びの評価」の結果をもとに、正課科目での実施について、FD・SDオフィス等と協議する。

②リカレント教育の充実（社会人入学を含む）



■保育士等対象のキャリアアップ研修を開講し、前期・後期合わせて331名（H30比較134.5%）受講した。

■生きがい創造協会と連携して、履修証明プログラムの導入と科目等履修制度の推進を計画した。令和2年度に向けて募集を2月から行い、前期のみで15名登録した。

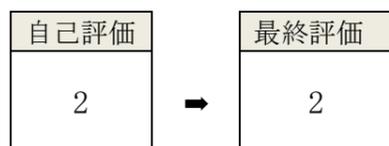
■リカレント教育講座として、ピアサポート講座を3回、潜在保育士の職場復帰研修を前期・後期合わせて10回計画した。その他にも同窓会等と連携し、リカレント関連研修を計画した。

■認知症ケア指導管理士試験の対策講座として認知症講座を企画し（全13回）、10月から開講した。また、日の出医療福祉グループと連携し、介護員養成研修を計画。2月6日から20日間にわたり開講した。

■連携先との関係性強化および生涯学習の推進のため、令和2年度にリカレントコースを開設し、いなみ野学園研究生等を15名受け入れた。

◇「特定の分野を深く追求した研究や学習が可能な講座の開講」及び「最先端にテーマを置いた講座の開講」を含んだビジネスパーソン向けの講座については、開講に向けて協議していく。

③情報発信力強化によるブランディング（インナー含む）の推進



■Googleアナリティクスを使用したログ解析によるページの閲覧状況等によるターゲット層の見直しやサイトの仕様、導線を再検討し、トップページ及びその他ページの仕様を整備、改修した。

■公式SNSを運用し、在学生及び同窓生、高校生向けの情報発信を強化した。

■学生広報スタッフによる活動を始動させ、新しい広報活動の体制を確立した。

◇「広報活動における5年間の計画」及び「タグライン「ありがとうのプロフェッショナルへ。」の魅せる化についての浸透方法」に沿って、広報を展開する。

◇在学生や教員、同窓生の「顔」(活動)が見える公式サイトへの移行、大学情報(各種データ)の発信を強化する。次年度、新規ページ作成予定である。

# 評価のランク

計画 \ 目標	目標			
	目標達成率 100%以上	目標達成率 80%以上100%未満	目標達成率 60%以上80%未満	目標達成率 60%未満
計画どおりに 実施できた (100%以上)	1	2	5	6
部分的な課題はあるが おおむね順調 (80%以上100%未満)	1	2	5	6
やや進捗が 遅延している (60%以上80%未満)	3	4	7	8
課題があり進捗が かなり遅延している (60%未満)	3	4	7	8

- …… 順調 (進捗、目標達成ともに問題ない。)
- …… 計画または目標設定に対し、検証が必要。
- …… 目標達成に向け、改善を要する。
- …… 計画変更の検討が必要。